

2026年度 コミュニティマネジメント・インターンシップ 履修案内

国内外の地域・社会課題の解決に挑戦する現場に赴き、
事業〈仕事〉に学び、プロジェクト・マネジメントの実践力を身につけます。

■本インターンシップのねらいは？

大学卒業後、民間企業や地方公務員など様々な職種では、地域や社会が直面する課題を把握し、解決に導く新たな企画を生み出すプロジェクト・マネジメント能力が不可欠です。
このコミュニティマネジメント・インターンシップでは、コミュニティ分野・社会福祉分野の枠組みを超えて、地域・社会課題に対して多面的なアプローチを図っている現場に積極的に出向き、

- ①現場で働く「仕事人」と接して、コミュニティマネジメントの事業の実情を知る。
- ②現場に身を置きながら、社会が直面している課題を探り当て、その解決に向けた道筋を描き出す。
- ③数人のグループで現場に出向き、実践的なチームワークを体験する。

1年をかけて、国内外の派遣先や派遣時期を設定し、受講生とともに柔軟に進めていくプログラムです。本講義は、企業インターンシップと違って、自らの関心に基づいてプログラムを組み立て、展開する点で、本来のインターンシップと言えるものです。

■今年度の担当教員と研究テーマ

水野雅男教授：遊休資産の活用によるコミュニティの再生、被災地の支援と復興まちづくり
佐野竜平教授：人馬のウェルビーイングに資するまちづくり
関司直也教授：農山村における地域マネジメント、外部人材・関係人口と共働する地域づくり
土肥将敦教授：ソーシャル・ビジネス、ソーシャル・イノベーション
杉浦ちなみ専任講師：社会教育・生涯学習、地域文化の継承・創造

■派遣先は？

コミュニティマネジメントに取り組んでいる組織や団体、まちづくり会社、NPO 法人、国際協力に取り組む NGO などです。

派遣先の決め方は、あらかじめ教員のネットワークから候補を提示する「プレ設定型」と、受講生の関心をもとに候補を挙げながら検討する「テラーメイド型」の 2 種類を用意しています。

<今年度のプレ設定型の派遣先> ※団体やプログラムの詳細は、説明会でお伝えします。

- ・NPO 法人金澤町家研究会 + NPO 法人金沢アートグミ(石川県金沢市：創造都市の実現化に向けた市民活動)
- ・ボランティアキャンプすず運営協議会(石川県珠洲市：被災地の復興支援と地場産業振興)
- ・株式会社クラダシ(クラダシチャレンジとして、昨年度は鹿児島県沖永良部島で農業インターンシップを実施)
- ・一般社団法人和栗協議会(静岡県浜松市天竜区：中山間地域をフィールドとしたスタディツアーと企画提案)
- ・NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク(岩手県遠野市：グリーンツーリズムを軸とした中間支援活動)
- ・NPO 法人日本障害者乗馬施設フューチャーバレー(福島県平田村：馬とまちづくり他、関係団体と連携企画実施)

もちろん、「テラーメイド型」での検討もできます。昨年度受講生は、テラーメイド型で自ら派遣先を検討して、以下の場所に赴きました。

- ・福島県猪苗代町：猪苗代町における観光ビジョンと DMC(観光地域づくり法人)の役割
- ・愛媛県伊予市：移住者受け入れにおける地域組織・中間支援団体の役割
- ・沖縄県那覇市：多世代交流・地域の居場所づくりの役割を担う公民館活動

■通年の講義では何をするの？

[春学期]

履修生の関心のあるテーマに沿って、2～5人程度にグループを構成し、派遣先を設定します。各派遣先の活動に関連する先行研究や情報収集を進め、各自の現地調査のテーマを検討し、現地でのインターンシッププログラムを組み立てていきます。※春学期および秋学期ともに担当教員と対面(講義室・研究室)およびオンライン(Zoom)両方で進める予定です。

[夏休み]

現地プログラムの実施は夏休みを想定していますが、受け入れ先の状況によっては、春・秋学期の週末等を利用する場合もあります。グループごとに派遣先に滞在して、その団体の業務(作業の手伝いなど)や現場での活動に参加します。その中で、各自の現地調査テーマに沿って、データを収集します。

[秋学期]

調査収集したデータを整理し、必要に応じて追加調査も行いながら、報告書にとりまとめます。さらに、プレゼンテーション資料も作成して、報告会で発表します。

■科目構成と単位:I・IIはセット(通年)で履修

コミュニティマネジメント・インターンシップ I (春学期・2単位)

コミュニティマネジメント・インターンシップ II (秋学期・2単位)

■履修条件・先行履修要件は？

履修推奨年次は2年生および3年生で、4年生の履修も可能です。他の実習科目を履修する年度には、本科目を履修することはできません。

先行履修科目:「基礎演習 I」「基礎演習 II」「フィールドスタディ入門」

■履修生の人数枠と履修方法

・最大30名です(変更・調整あり)。

・履修希望者は、まず履修説明会に参加してください。

履修説明会:4/9(木)の昼休み13時～(@心理学実験室)と5限(@心理学実験室)に実施(どちらかに参加を)。

その上で、受講希望者は、初回授業4/16(木)@心理学実験室に出席してください。

万一、履修説明会に出席できない人は、事前に必ず今年度担当教員に連絡してください。

その他質問があれば、2026年度担当教員(水野、佐野、土肥、関司、杉浦)まで気軽に相談してください。

ゼミでのフィールドワークとは違った派遣先での活動や新しい仲間、現場の皆さんとの出会いが待っています。皆さんの受講をお待ちしています。